

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 22/July/2019/vol.549

富士見町の真っ赤なルバーブ（長野県富士見町産）Rhubarb **お取り寄せ商品**

すらっとした形と、下から上までが赤く色づいている美しいルバーブ。日本を代表する山々に囲まれた標高 1000m ほどの冷涼な気候の長野県富士見町は、そんな真っ赤なルバーブに特化した一大生産地でもあります。平成 18 年に「富士見町ルバーブ生産組合」が立ち上げられ、町を挙げて本格的な栽培が始まりました。そもそも、この町に居住していた方が、外国人のご主人の大好物だったルバーブを栽培し、そのおいしさが評判となったことがきっかけでした。そのルバーブは紅色が濃く茎の細いのが特徴です。細茎ルバーブの優れている点は紅色の表面積が多いことから他の太くて大きなルバーブでは作ることのできない、鮮やかできれいな紅いジャムやソースが作れることです。そのような日本でも珍しい種類のルバーブは、富士見町の特産品としての取り組みが功を奏し、生産農家も次第に増えて、町外へは株分けせずに大切に守ることを前提に栽培がおこなわれているそうです。